

【事故】

令和4年度 第1回 富山県道路安全・円滑化検討委員会 事故危険区間関係 説明資料

— 目 次 —

- | | |
|-------------------------|------|
| 1. これまでの検討経緯 | P 1 |
| 2. 意見に対する回答 | P 4 |
| 3. 令和4年度 事故危険区間の解除箇所の選定 | P 7 |
| 4. 令和4年度 事故危険区間の追加箇所の選定 | P1 4 |
| 5. 令和4年度 事故危険区間数 | P2 1 |
| 6. 今後の進め方について | P2 2 |

令和4年8月30日(火)

1. これまでの検討経緯

(1) 令和3年度の委員会の確認内容(前回)

8月

検討委員会の開催

①意見に対する回答

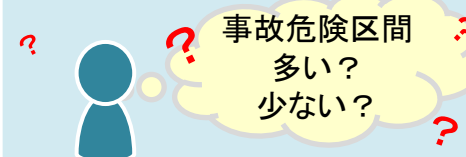
- ・安全走行阻害箇所の名称変更
- ・新型コロナウイルスによる事故への影響

②最新事故データによる安全走行阻害箇所の解除・追加判定

③今後の進め方

<委員からの意見>

- これまでの事故危険区間数は、増加傾向？減少傾向？



(2) 令和4年度の委員会の検討内容(今回)

8月

検討委員会の開催

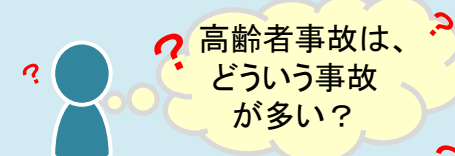
①意見に対する回答

- ・事故危険区間の登録件数推移
- ・高齢者事故の特徴(富山県)

②最新事故データによる事故危険区間の解除・追加判定

③今後の進め方

- 富山県の高齢者事故は、どれくらい？
- 何か特徴が見られる？



1. これまでの検討経緯

(3) 富山県の事故危険区間の抽出基準と箇所数

- 事故危険区間は、①事故危険箇所、②事故多発箇所、③アンケート抽出箇所の3条件を基に抽出。
- 令和3年度時点で182箇所(国93、県89)を登録。

【富山県事故危険区間の抽出基準】

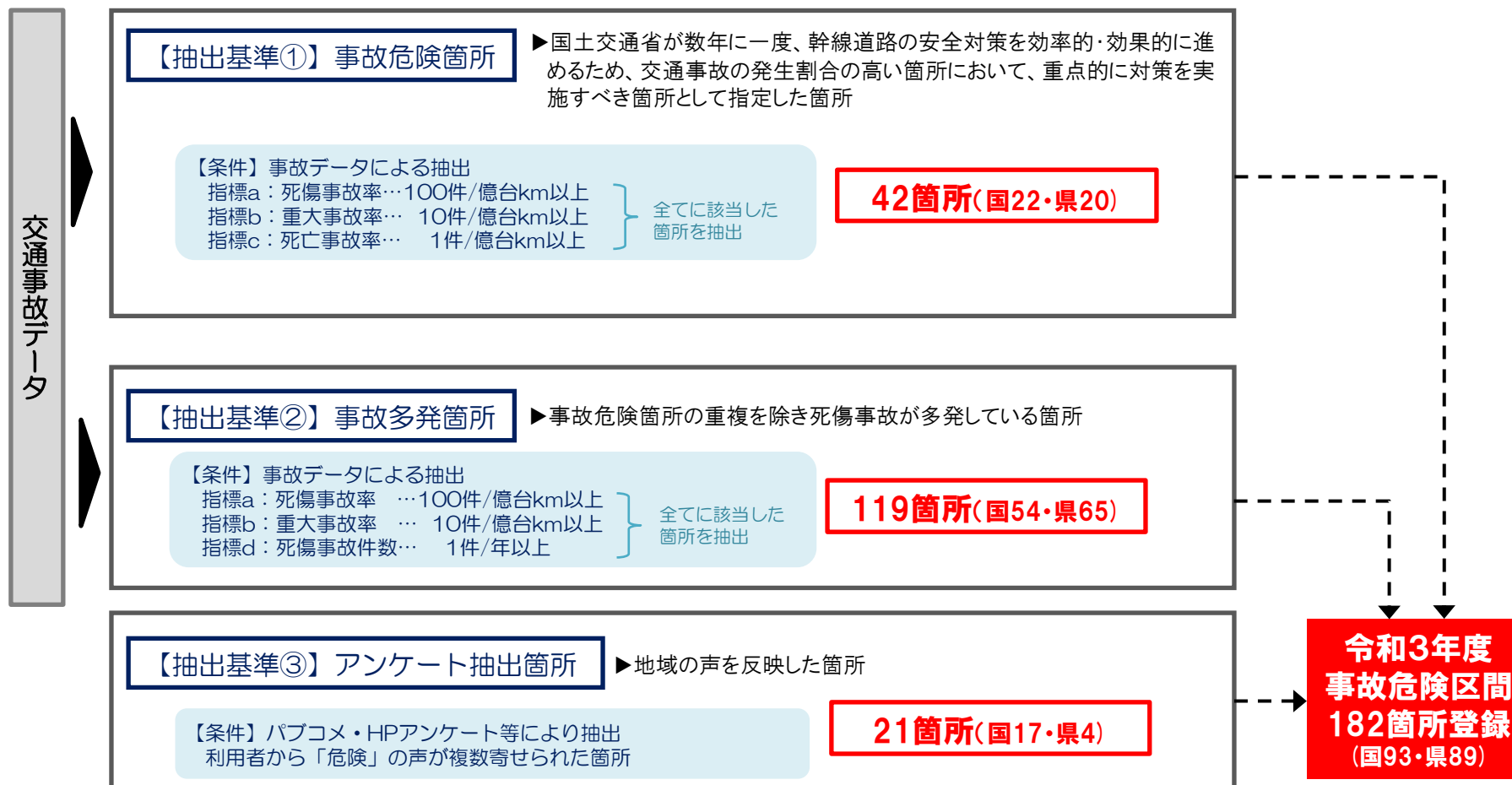


図1-1 事故危険区間抽出基準と登録箇所数

1. これまでの検討経緯

(4) 事故危険区間の解除・追加フロー

- 事故危険区間の解除・追加は、最新事故データで評価し抽出基準の該当状況を整理。
- 平成29年度委員会で承認を受けた「事故危険区間解除・追加フロー」に基づき候補箇所を選定。

【事故危険区間の解除フロー】

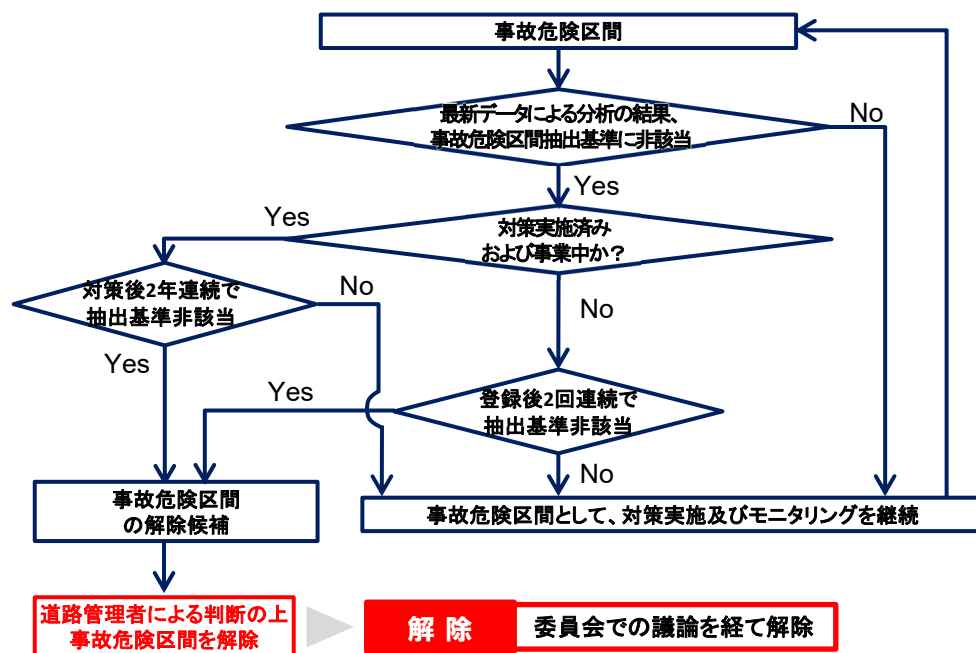


図1-2 事故危険区間解除フロー
(平成29年度委員会にて決定)

【事故危険区間の追加フロー】

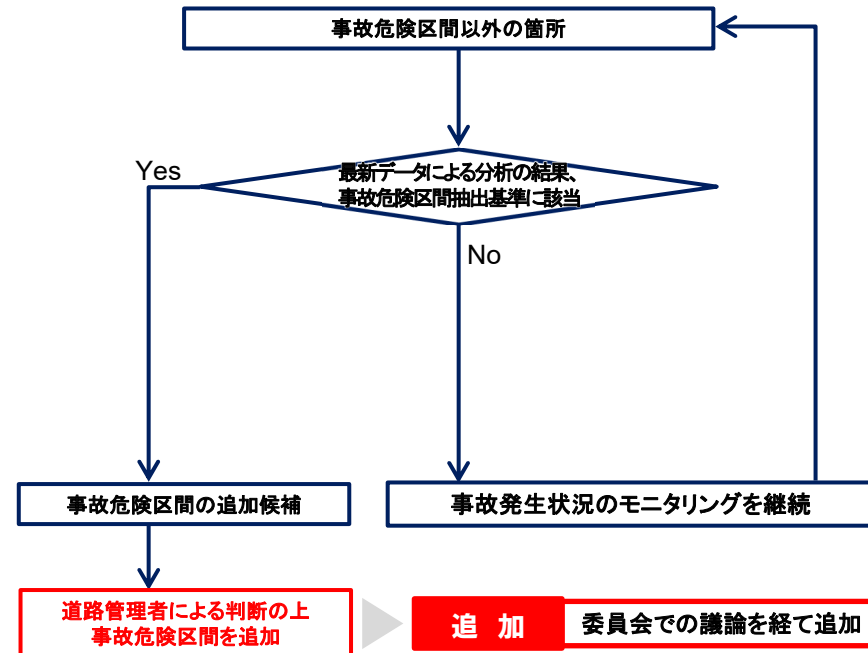


図1-3 事故危険区間追加フロー
(平成29年度委員会にて決定)

2. 委員からの意見に対する回答

(1) 事故危険区間の登録数

- 富山県事故危険区間数は、H22年～H28年まで増加傾向を辿り最大で260区間まで到達。
H30年以降減少傾向となり、現在182区間を登録。
- 毎年の追加箇所数は年平均16区間。解除箇所数は、「H30年解除判定設定」以降、年平均31区間。

<令和3年度委員会>

委員



<意見>

事故危険区間数は、増加傾向なのか減少傾向なのか？

【富山県事故危険区間の推移】

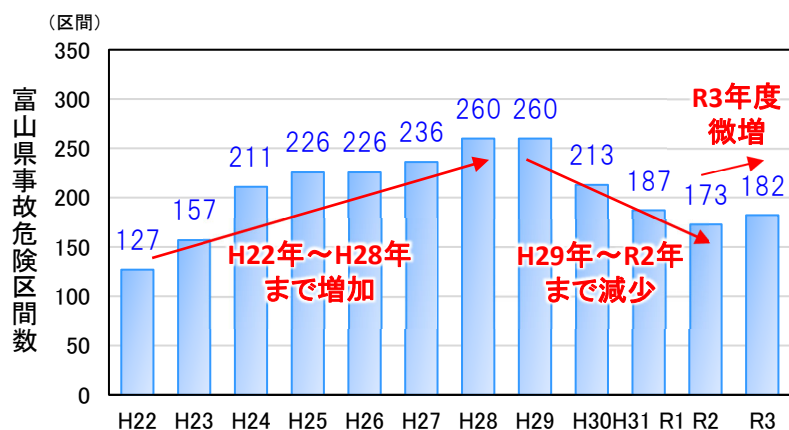


図2-1 富山県事故危険区間推移

【富山県事故危険区間の解除・追加数の推移】

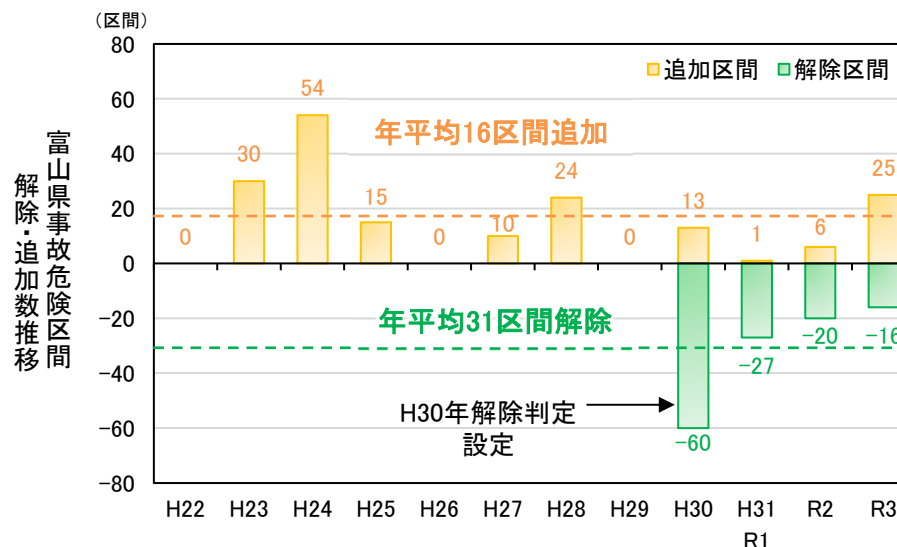


図2-2 富山県事故危険区間の解除・追加推移

2. 委員からの意見に対する回答

(2) 富山県高齢者事故の特徴

- 富山県の高齢者事故件数は減少しているが、非高齢者事故件数に比べると減少率が少ないことから、相対的に高齢者事故件数の占める割合は増加傾向。
- 高齢者事故のうち約2／3は高齢者の加害事故。高齢者加害事故件数はH27からR3にかけて約4割減少。

※高齢者事故：65歳以上による交通事故を示す

<令和3年度委員会>

委員



<意見>

近年の高齢者事故が増えてきていることを踏まえ、
高齢者事故に何か特徴はあるのか？

【富山県の高齢者事故件数の推移】

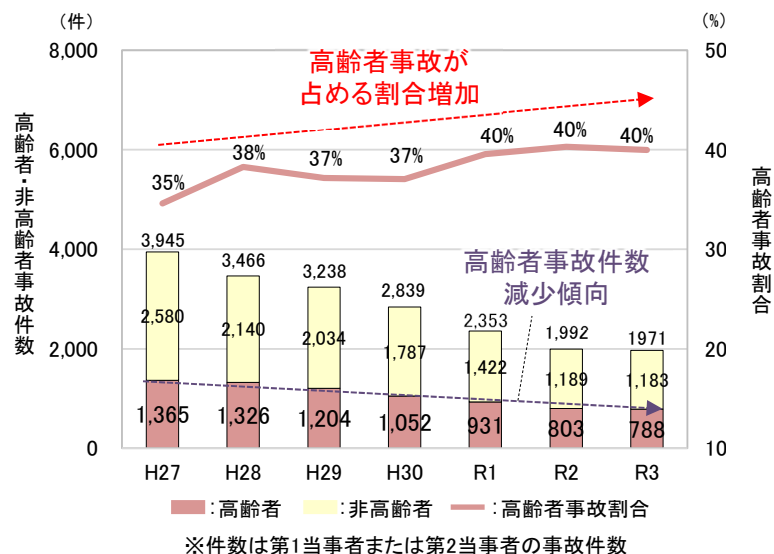


図2-3 富山県の高齢者事故件数推移

【高齢者加害事故件数の推移】

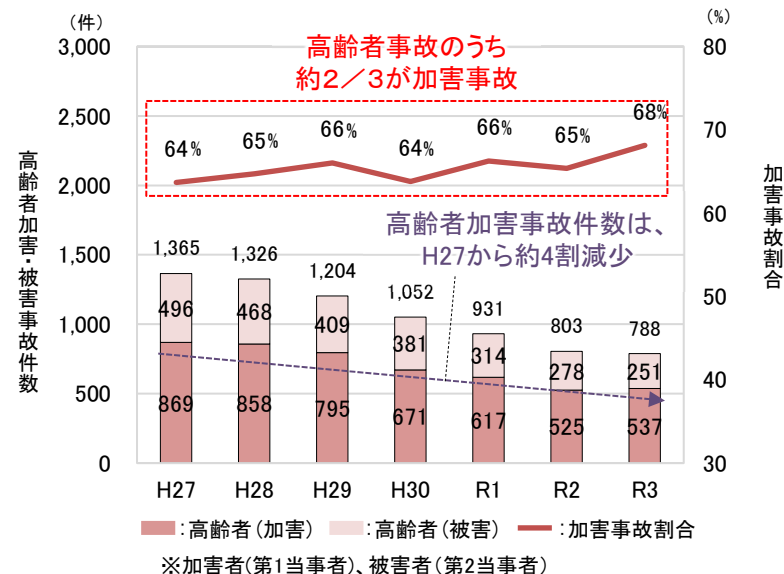


図2-4 富山県の高齢者加害事故件数推移

データ出典：富山県警HP「富山県交通事故白書」

2. 委員からの意見に対する回答

(2) 富山県高齢者事故の特徴

- 高齢者事故は、追突事故が約3割、出会い頭事故が約3割の計6割を占める。
- 高齢者による追突事故は、前方不注意が要因の事故が約半数を占める。
また、出会い頭事故は、一時不停止と信号無視が要因の事故が約6割を占める。

【高齢者事故類型割合】

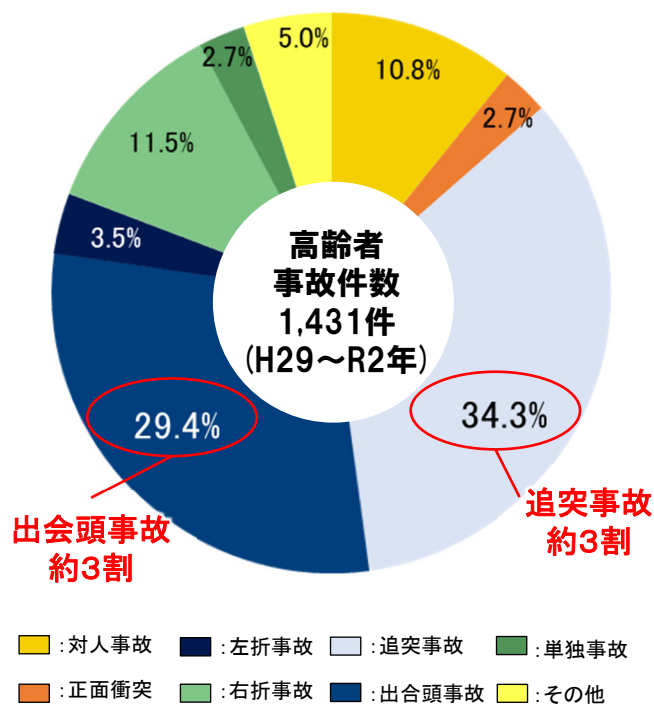


図2-5 高齢者事故の類型割合

※1高齢者事故：第1当事者（加害者）が高齢者の事故
※2富山県の国道と県道の事故

データ出典：ITARDAデータ（H29～R2年）事故別データ

【追突事故要因】

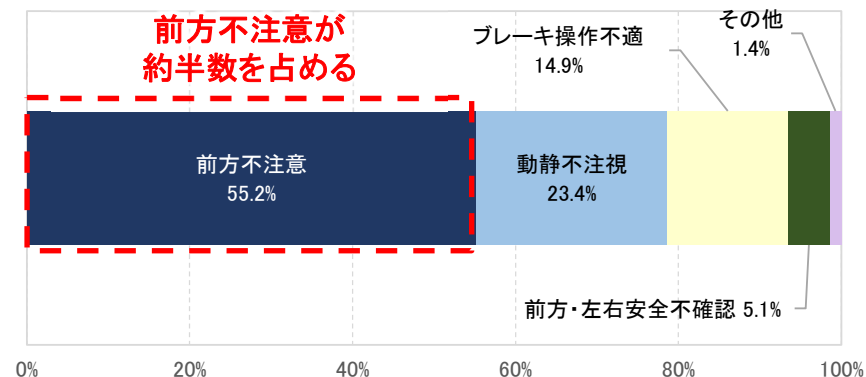


図2-6 追突事故要因（法令違反割合）

【出会い頭事故要因】

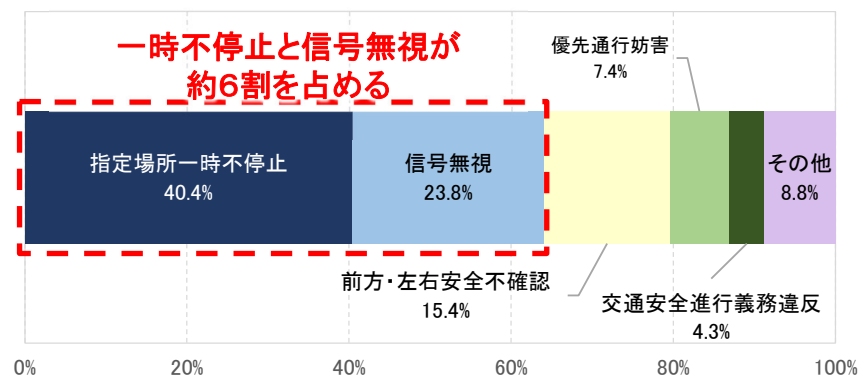


図2-7 出会い頭事故要因（法令違反割合）

データ出典：ITARDAデータ（H29～R2年）事故別データ

3. 令和4年度 事故危険区間の解除箇所を選定

(1) 解除候補箇所の選定

- 最新事故データ(平成29年～令和2年)による選定の結果、事故危険区間の解除候補箇所は79箇所。
(国管理36箇所、県管理43箇所)
- 解除判定は、道路管理者による判断の上、解除箇所を絞り込み委員会での議論を経て、事故危険区間を解除する。

【解除候補箇所の抽出フロー】

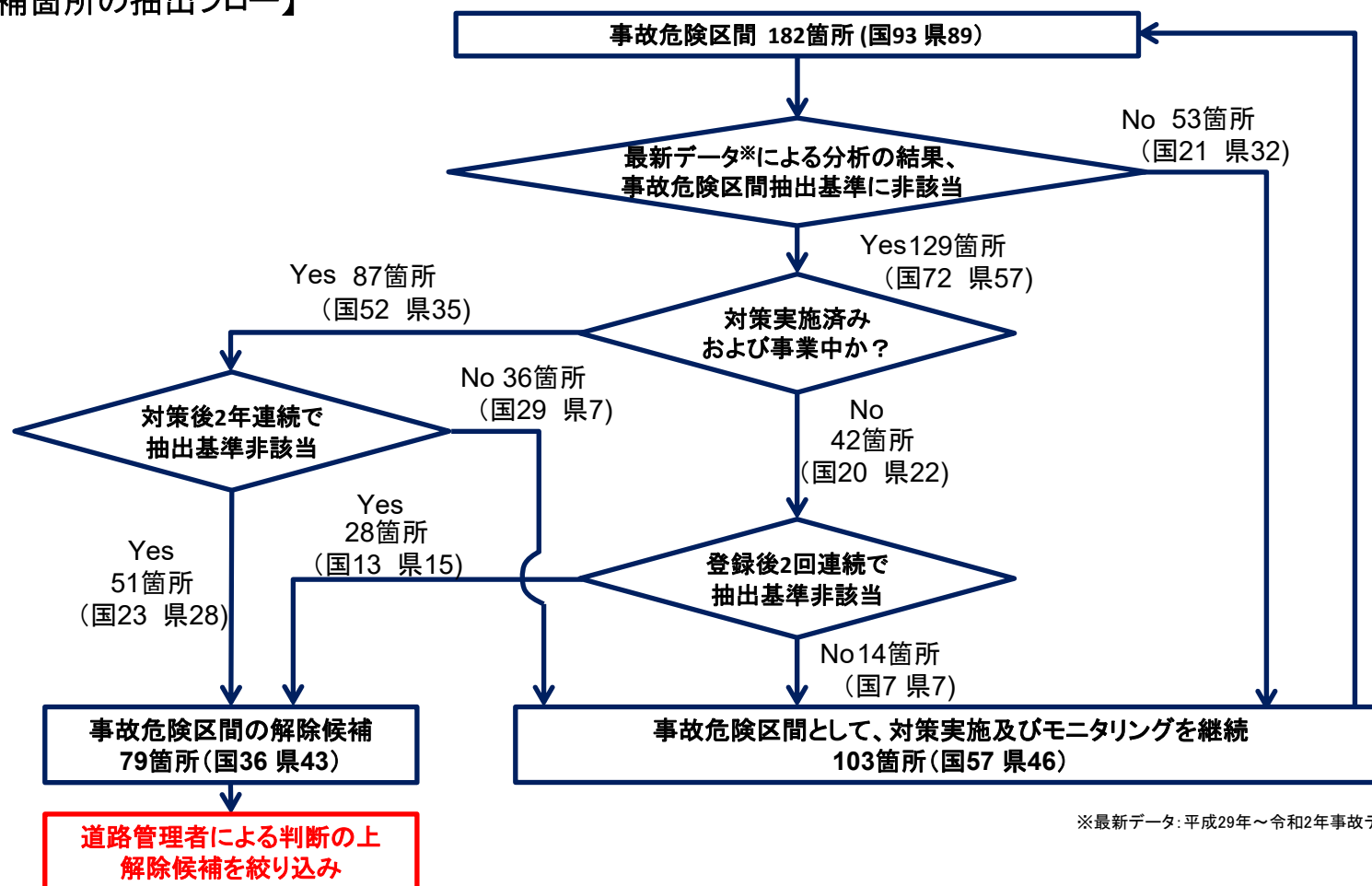


図2-8 解除候補箇所選定

3. 令和4年度 事故危険区間の解除箇所を選定

(2) 道路管理者による解除判定結果

- 事故危険区間の解除箇所は、解除候補箇所のうち事故の危険性がより低い33箇所(国管理10箇所、県管理23箇所)を選定。

表-1 解除箇所

管理	No	市町村名	道路 種別	路線 番号	地点名	最新事故データ(H29-R2年事故)				対策内容
						a:死傷事故率 (件/億台km)	b:重大事故率 (件/億台km)	c:死亡事故率 (件/億台km)	d:死傷事故件数 (件/年)	
富山河川 国道事務所	1	射水市	国道	8	津幡江交差点	56.50	0.00	0.00	0.75	ドットライン設置(H26年完了)
	2	高岡市	国道	8	六家交差点	19.00	0.00	0.00	0.25	-
	3	富山市	国道	41	下大久保交差点～ 下大久保若草町交差点	0.00	0.00	0.00	0.00	歩道整備(H29年完了)
	4	富山市	国道	41	黒崎～黒崎北交差点	26.80	0.00	0.00	0.50	ドットライン設置(H30年完了)
	5	砺波市	国道	156	金屋	0.00	0.00	0.00	0.00	自歩道整備(H27年完了)
	6	高岡市	国道	156	木津新～鍵紡町	0.00	0.00	0.00	0.00	-
	7	氷見市	国道	160	朝日丘交差点	33.40	0.00	0.00	0.25	ドットライン設置(H25年完了) ドットライン更新(H28年更新)
	8	魚津市	国道	8	友道東交差点	80.10	26.70	0.00	0.75	右折分離ゼブラ帯設置(H29年完了)
	9	射水市	国道	8	大江交差点	75.40	0.00	0.00	1.00	ドットライン設置(H26年) ドットライン更新(H30年)
	10	高岡市	国道	8	立野	45.30	0.00	0.00	1.00	-
富山県管理	11	高岡市	国道	415	伏木古府1丁目24	0.00	0.00	0.00	0.00	区画線(交差点注意、減速ドットライン)、 電光表示板(追突注意)設置(H23.10完了)
	12	砺波市	県道	11	頼成46	0.00	0.00	0.00	0.00	警戒標識(201-A交差点あり)設置、 区画線(減速ドットライン)設置(H23.6完了)
	13	魚津市	県道	33	大光寺交差点	0.00	0.00	0.00	0.00	交差点部の外側線の引き出し交差点取付部の中央線の設置 (H23年完了)
	14	富山市	県道	41	東老田(北)交差点	0.00	0.00	0.00	0.00	-
	15	高岡市	県道	64	金屋～昭和町1丁目2-3	76.40	0.00	0.00	0.75	区画線(横断者注意)設置(H22年完了)
	16	富山市	県道	65	吉岡(北)交差点	0.00	0.00	0.00	0.00	区画線(減速ドットライン等)、警戒標識(十字交差点あり)、 信号制側(H20年完了)
	17	魚津市	県道	128	駅通堂1丁目12番地-18	63.50	0.00	0.00	0.25	中央分離帯改善(クッションドラム設置。開口部を狭める (H30年完了))
	18	富山市	県道	179	中屋交差点	77.30	0.00	0.00	0.25	-
	19	射水市	県道	322	殿村147番地-1 (殿村交差点)	0.00	0.00	0.00	0.00	歩道設置(H30年完了)
	20	富山市	国道	415	四方荒屋交差点	141.30	0.00	0.00	0.50	-
	21	南砺市	国道	471	焼野交差点	152.40	0.00	0.00	0.25	-
	22	富山市	県道	7	富山大橋西詰	142.90	0.00	0.00	0.50	-
	23	砺波市	県道	17	太郎丸2丁目3	2129.30	0.00	0.00	0.75	押しボタン式信号機の新設
	24	射水市	県道	41	加茂中部170	1050.50	0.00	0.00	0.75	区画線(交差点有、減速ドットライン)設置(H22年完了)
	25	富山市	県道	41	古沢交差点	114.60	0.00	0.00	0.75	-
	26	富山市	県道	65	双代町北交差点	145.00	0.00	0.00	0.75	-
	27	魚津市	県道	128	上村木東交差点	337.20	0.00	0.00	0.75	右折レーン(H22年完了)
	28	魚津市	県道	150	新江口交差点	44.60	0.00	0.00	2.25	ドットライン設置済み(H25年完了)
	29	立山町	県道	167	中米沢交差点	254.60	0.00	0.00	0.25	明色舗装(フレッシュアップ)(H23年完了)
	30	高岡市	県道	254	六家(北)交差点	320.70	0.00	0.00	0.25	交差点内明色舗装、 区画線(外側ドットライン)設置(フレッシュアップ)(H23年完了)
	31	高岡市	県道	254	北島323番地-41(北島西交差点)～ 北島500番地-2	320.70	0.00	0.00	0.25	区画線(導入線など)の見直し(フレッシュアップ)(H29年完了)
	32	南砺市	県道	280	年代60	708.30	0.00	0.00	0.25	区画線(減速ドットライン)設置(交安2種) 警戒標識(201-A交差点あり)設置(交安2種)(H23年完了)
	33	南砺市	国道 県道	304	福光駅前交差点	143.70	0.00	0.00	0.25	区画線(減速ドットライン)設置(交安2種)(H23年完了)

33箇所
解除

(参考)事故危険区間 追加時の抽出基準

【抽出基準①】事故危険箇所

指標a：死傷事故率…100件/億台km以上
指標b：重大事故率… 10件/億台km以上
指標c：死亡事故率… 1件/億台km以上
※全てに該当した箇所

【抽出基準②】事故多発箇所

指標a：死傷事故率…100件/億台km以上
指標b：重大事故率… 10件/億台km以上
指標d：死傷事故件数… 1件/年以上
※全てに該当した箇所

()：対策完了年

3. 令和4年度 事故危険区間の解除箇所を選定

■ 事故危険区間の解除箇所位置図〔富山河川国道事務所管理区間〕

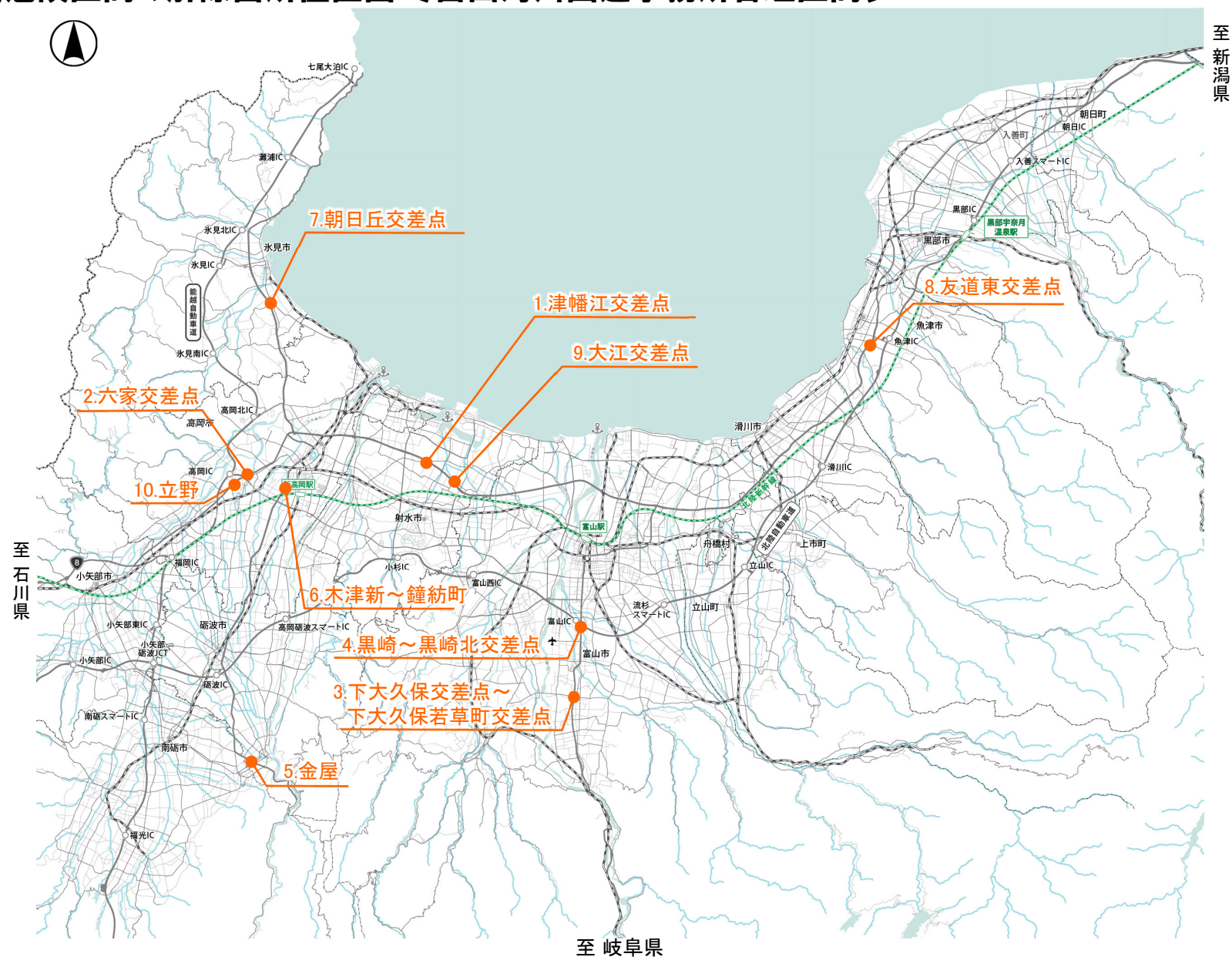


図3-1 事故危険区間解除箇所位置図

3. 令和4年度 事故危険区間の解除箇所を選定

■ 事故危険区間の解除箇所位置図〔富山県管理区間〕

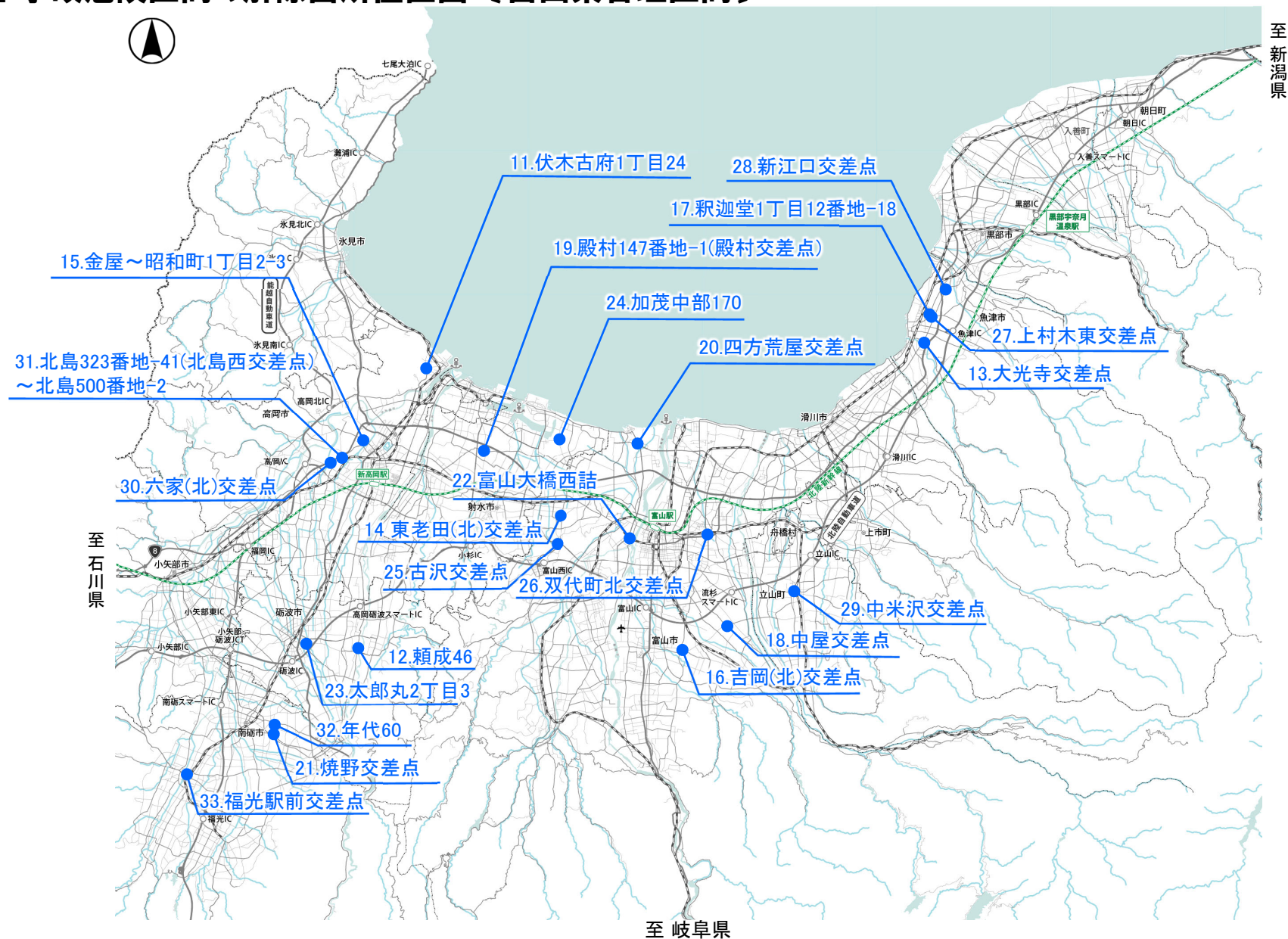


図3-2 事故危険区間解除箇所位置図

3. 令和4年度 事故危険区間の解除箇所を選定

■ 事故危険区間の解除箇所の事例

国道8号 友道東交差点 とも みち ひがし 【抽出基準②：事故多発箇所】

- 事故発生状況：交差点手前での追突事故と交差点内の右折事故が多発。
- 対策内容：注意喚起標識設置(H27完了)、右折ゼブラ帯設置(H29年完了)
- 対策効果：対策後、**死傷事故が約8割減少**。(選定時 3.25件/年→対策後 0.67 件/年)
- 判定：近年死傷事故も少なく、危険性が低いと考えられるため**事故危険区間を解除と判定**。

《位置図》



図3-3 位置図

《対策》

【対策前】



※写真撮影日：平成29年12月14日

【対策後】



※写真撮影日：平成29年12月25日

図3-4 対策実施の概要

《対策前の事故発生状況》



図3-5 友道東交差点の事故発生状況※地理院地図に一部追記

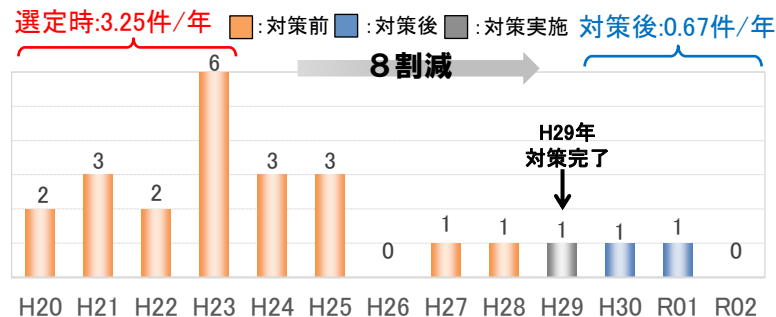


図3-6 死傷事故件数 出典：ITARDAデータ

《判定》

■ 選定時の事故データ

- (平成19年～平成22年)
- ①死傷事故率：363.3件/億台km
- ②死傷事故件数：3.25件/年

■ 最新の事故データ

- (平成30年～令和2年)
- ①死傷事故率：71.21件/億台km
- ②死傷事故件数：0.67件/年

解除

3. 令和4年度 事故危険区間の解除箇所を選定

■ 事故危険区間の解除箇所の事例

国道41号 黒崎～黒崎北交差点 【抽出基準②：事故多発箇所】

- 事故発生状況：交差点手前での追突事故が多発。
- 対策内容：ドットライン、注意喚起路面標示「追突注意」設置（H30年完了）
- 対策効果：対策後、**死傷事故が約8割減少**。（選定時 3.25件/年→対策後 0.50 件/年）
- 判定：近年死傷事故も少なく、危険性が低いと考えられるため**事故危険区間を解除と判定**。

《位置図》



図3-7 位置図

《対 策》

【対策前】



【対策後】



図3-8 対策実施の概要

《対策前の事故発生状況》



図3-9 黒崎～黒崎北交差点の事故発生状況 ※地理院地図に一部追記

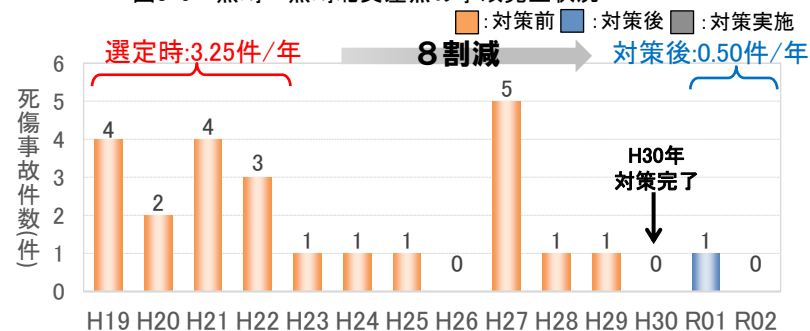


図3-10 死傷事故件数 出典：ITARDAデータ

《判定》

■ 選定時の事故データ

- (平成19年～平成22年)
- ①死傷事故率：187.0 件/億台km
 - ②死傷事故件数：3.25件/年

■ 最新の事故データ

- (令和元年～令和2年)
- ①死傷事故率：26.8 件/億台km
 - ②死傷事故件数：0.50件/年

解除

3. 令和4年度 事故危険区間の解除箇所を選定

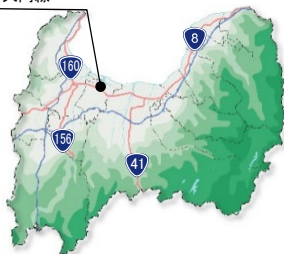
■ 事故危険区間の解除箇所の事例

(一) 八町大門線 殿村147番地-1 (殿村交差点) 【抽出基準①：事故危険箇所】

- 事故発生状況: 単路区間での追突事故が多発。また、歩道・路肩が無いため歩行者は危険
- 対策内容: 歩道設置(H30年完了)
- 対策効果: 対策後, **死傷事故の発生なし**。(選定時 1.00件/年→対策後 0.00 件/年)
- 判定: 近年死傷事故も少なく、危険性が低いと考えられるため**事故危険区間を解除と判定**。

《位置図》

殿村147番地-1
殿村交差点
(主)八町大門線



※電子地形図25000(国土地理院)に一部追記

図3-11 位置図

《対策前》



※地理院地図に一部追記
図3-12 写真位置図



【写真撮影日: 平成30年3月3日】
図3-13 対策前の概要

《対策後》



【写真撮影日: 平成30年5月19日】

図3-14 対策実施の概要

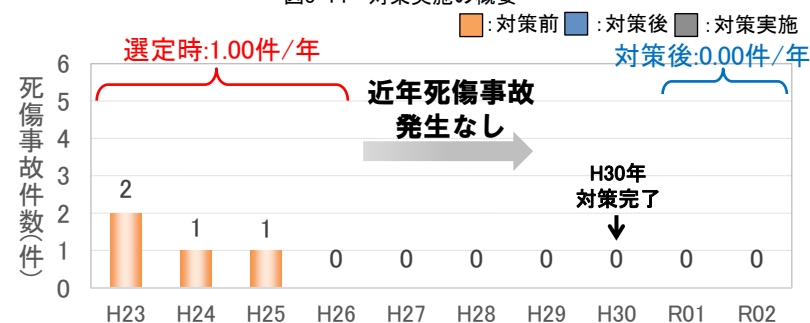


図3-15 死傷事故件数 出典: ITARDAデータ

《判定》

■ 選定時の事故データ

(平成23年～平成26年)

- ①死傷事故率 : 149.0件/億台km
- ②死傷事故件数 : 1.00件/年

■ 最新の事故データ

(令和元年～令和2年)

- ①死傷事故率 : 0.0件/億台km
- ②死傷事故件数 : 0.0件/億台km

解除

4. 令和4年度 事故危険区間の追加箇所を選定

(1) 追加候補箇所の選定

- 最新事故データ(平成29年～令和2年)による選定の結果、追加候補箇所は61箇所。
(国管理8箇所、県管理53箇所)
- 追加判定は、道路管理者による判断の上追加箇所を絞り込み、委員会での議論を経て、事故危険区間へ追加する。

【追加候補箇所の抽出フロー】

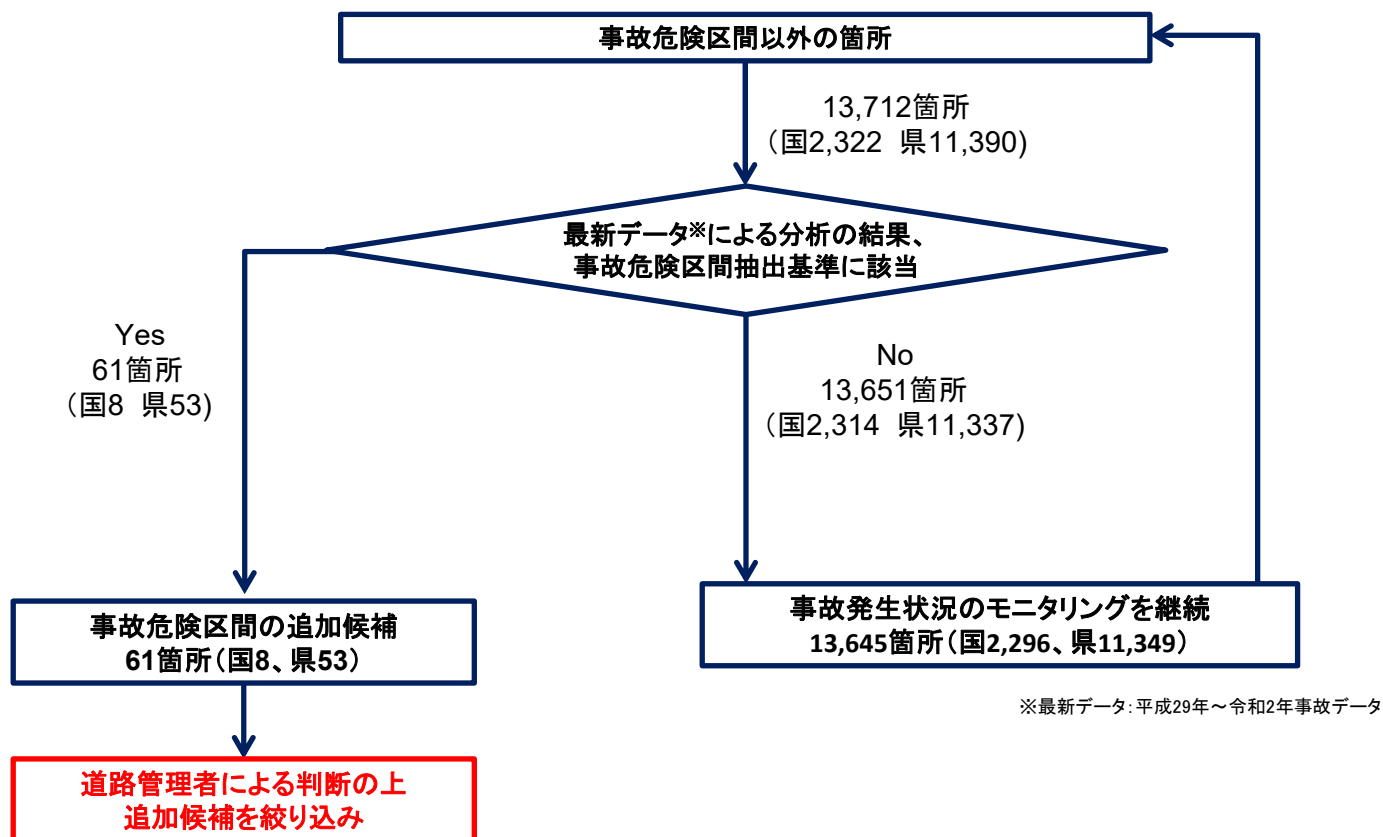


図4-1 追加候補箇所選定

4. 令和4年度 事故危険区間の追加箇所を選定

(2) 道路管理者による追加箇所選定結果

- 追加候補箇所のうち事故対策の優先性が高いと判定した4箇所を選定。

表-2 追加選定箇所

管理 事務所	No	市町村名	道路 種別	路線 番号	地点名	距離標	死傷事故件数					
							死傷事故件数				H29-R2 死傷事故数 (件/年)	H29-R2 死傷事故率 (件/億台km)
							H29	H30	R1	R2		
富山 河川 国道 事務所	1	高岡市	国道	8	下老子交差点	281,658	1	1	2	1	1.25	164.1
	2	富山市	国道	41	舘出(東)交差点	249,616	1	1	3	3	2.00	209.3
	3	高岡市	国道	156	佐野緑町地先	212,458	1	3	0	2	1.50	173.7
富山 県	4	砺波市	県道	72	砺波大橋西詰	4,988	3	3	2	0	2.00	866.2

※最新データ:平成29年～令和2年事故データ

4箇所選定

4. 令和4年度 事故危険区間の追加箇所を選定

■ 事故危険区間の追加箇所位置図

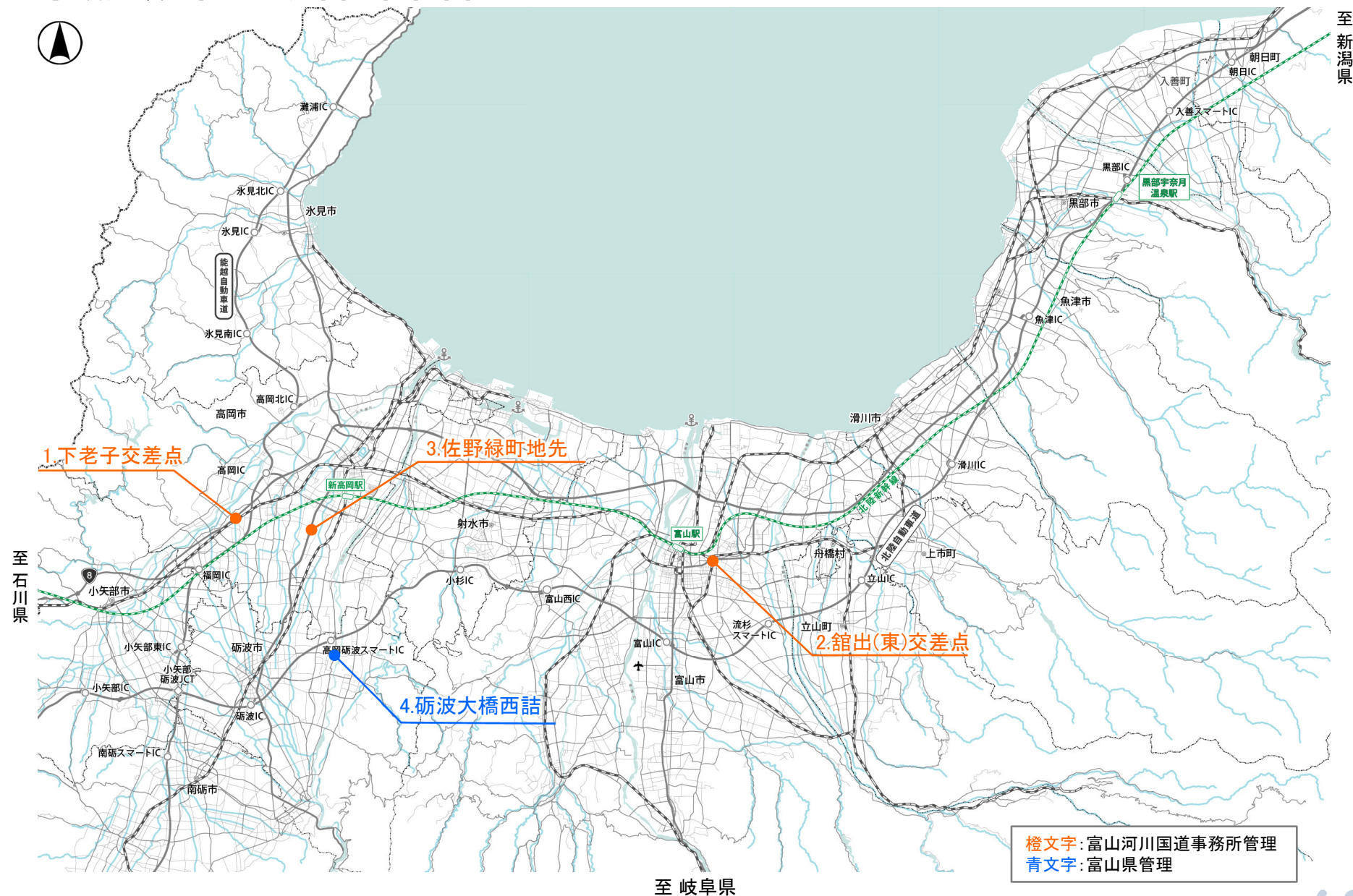


図4-2 事故危険区間追加箇所位置図

4. 令和4年度 事故危険区間の追加箇所を選定

■ 事故危険区間の追加候補箇所の事例

国道8号^{しも おいご}下老子交差点 【抽出基準①：事故危険箇所】

- ① 下老子交差点は、近年死傷事故が多発しており、最新事故データで事故危険区間抽出条件に該当。
② 交差点内で出合頭事故が多発している他。H30年に単独事故による死亡事故が1件発生。

《位置図》



図4-3 位置図 ※電子地形図25000(国土地理院)に一部追記

《事故発生状況》



※上記：H29～R2年死傷事故データ(選定時データ)
図4-5 事故発生状況 ※地理院地図に一部追記

《死傷事故件数》

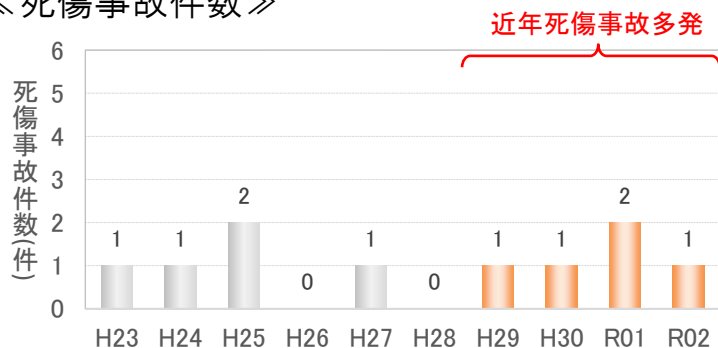


図4-4 死傷事故件数

■ 抽出基準（下老子交差点の事故データ）

- ① 死傷事故率：164.1 件/億台km
② 重大事故率：65.6件/億台km
③ 死亡事故率：32.8件/億台km
④ 死傷事故件数：1.25件/年

事故危険区間
抽出基準該当

出典：ITARDAデータ(H29～R2年事故データ)



図4-6 現況写真

至 射水市

4. 令和4年度 事故危険区間の追加箇所を選定

■ 事故危険区間の追加候補箇所の事例

国道41号 館出(東)交差点 たちいでひがし 【抽出基準②：事故多発箇所】

- ① 館出東交差点は、近年死傷事故が多発しており、最新事故データで事故危険区間抽出条件に該当。
- ② 交差点手前で追突事故や交差点内で対人事故が多発。

《位置図》

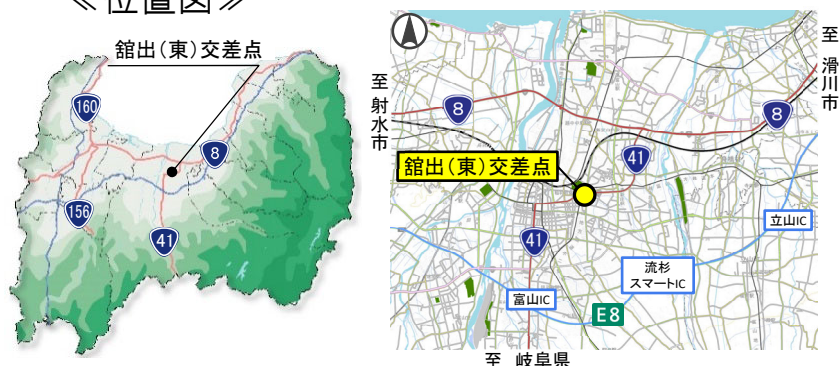


図4-7 位置図 ※電子地形図25000(国土地理院)に一部追記

《事故発生状況》



図4-9 事故発生状況

※地理院地図に一部追記

《死傷事故件数》

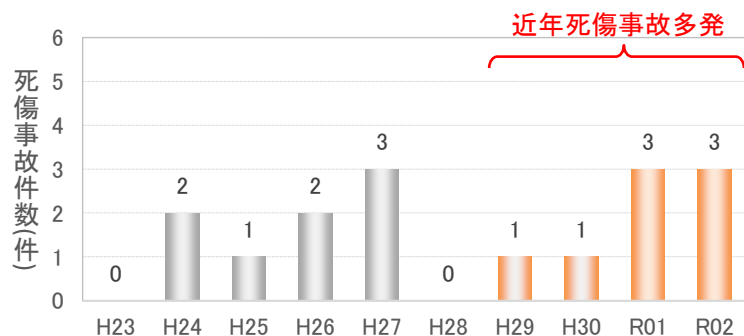


図4-8 死傷事故件数

■ 抽出基準（館出(東)交差点の事故データ）

- ① 死傷事故率: 209.3 件/億台km
- ② 重大事故率: 26.2件/億台km
- ③ 死亡事故率: 0.00件/億台km
- ④ 死傷事故件数: 2.00件/年

事故危険区間
抽出基準該当

出典: ITARDAデータ(H29～R2年事故データ)



図4-10現況写真

4. 令和4年度 事故危険区間の追加箇所を選定

■ 事故危険区間の追加候補箇所の事例

国道156号 佐野緑町地先

【抽出基準②：事故多発箇所】

- ① 佐野緑町地先は、近年死傷事故が多発しており、最新事故データで事故危険区間抽出条件に該当。
- ② 交差点手前で追突事故が多発。

《位置図》

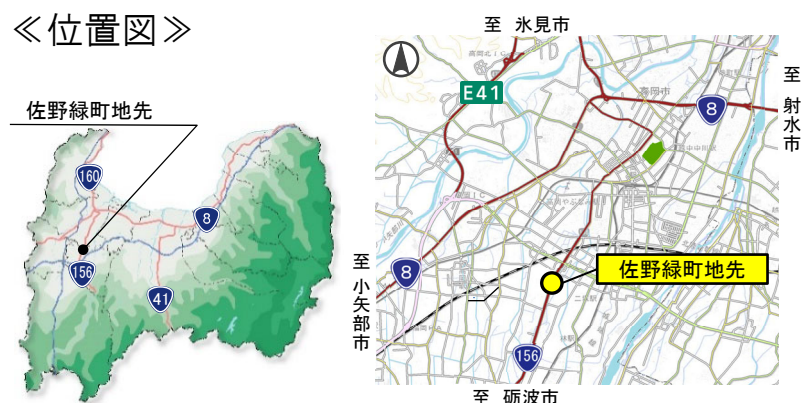


図4-11 位置図 ※電子地形図25000(国土地理院)に一部追記

《死傷事故件数》

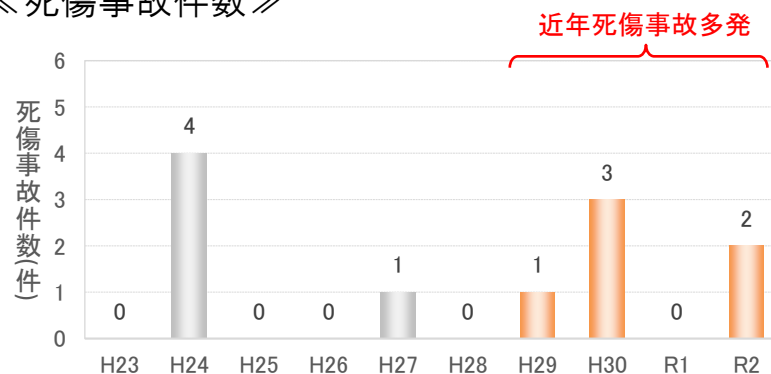


図4-12 死傷事故件数

■ 抽出基準（佐野緑町地先の事故データ）

- ① 死傷事故率: 173.7 件/億台km
- ② 重大事故率: 28.9件/億台km
- ③ 死亡事故率: 0.00件/億台km
- ④ 死傷事故件数: 1.50件/年

事故危険区間
抽出基準該当

出典: ITARDAデータ(H29～R2年事故データ)

《事故発生状況》



※上記: H29～R2年死傷事故データ(選定時データ)

図4-13 事故発生状況

※地理院地図に一部追記



図4-14 現況写真

4. 令和4年度 事故危険区間の追加箇所を選定

■ 事故危険区間の追加候補箇所の事例

(主) 坪野小矢部線 砺波大橋西詰

【抽出基準②：事故多発箇所】

- ① 砺波大橋西詰は、近年死傷事故が多発しており、最新事故データで事故危険区間抽出条件に該当。
- ② 交差点内で出会い頭事故が多発。

《位置図》

砺波大橋西詰交差点
(主)坪野小矢部線

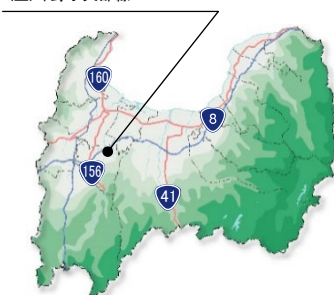


図4-15 位置図

《事故発生状況》



図4-17 事故発生状況

※地理院地図に一部追記

《死傷事故件数》

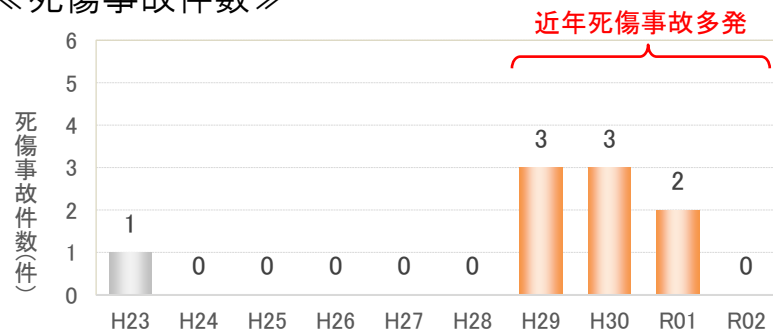


図4-16 死傷事故件数

出典:ITARDAデータ

■ 抽出基準 (砺波大橋西詰の事故データ)

- ① 死傷事故率: 866.2 件/億台km
- ② 重大事故率: 108.3件/億台km
- ③ 死亡事故率: 0.00件/億台km
- ④ 死傷事故件数: 2.0件/年

事故危険区間
抽出基準該当

出典:ITARDAデータ(H29~R2年事故データ)



【撮影日】令和4年6月28日

図4-18 現況写真

5. 令和4年度 事故危険区間数

■ 令和4年度事故危険区間まとめ

- 令和3年度事故危険区間登録箇所(182箇所)のうち33箇所を事故危険区間から解除。
- 新たに国道41号舘出東交差点等の4箇所について事故危険区間へ追加登録。
- 令和4年度事故危険区間として153箇所を登録。(182箇所-解除33箇所+追加4箇所)

【令和4年度事故危険区間数】

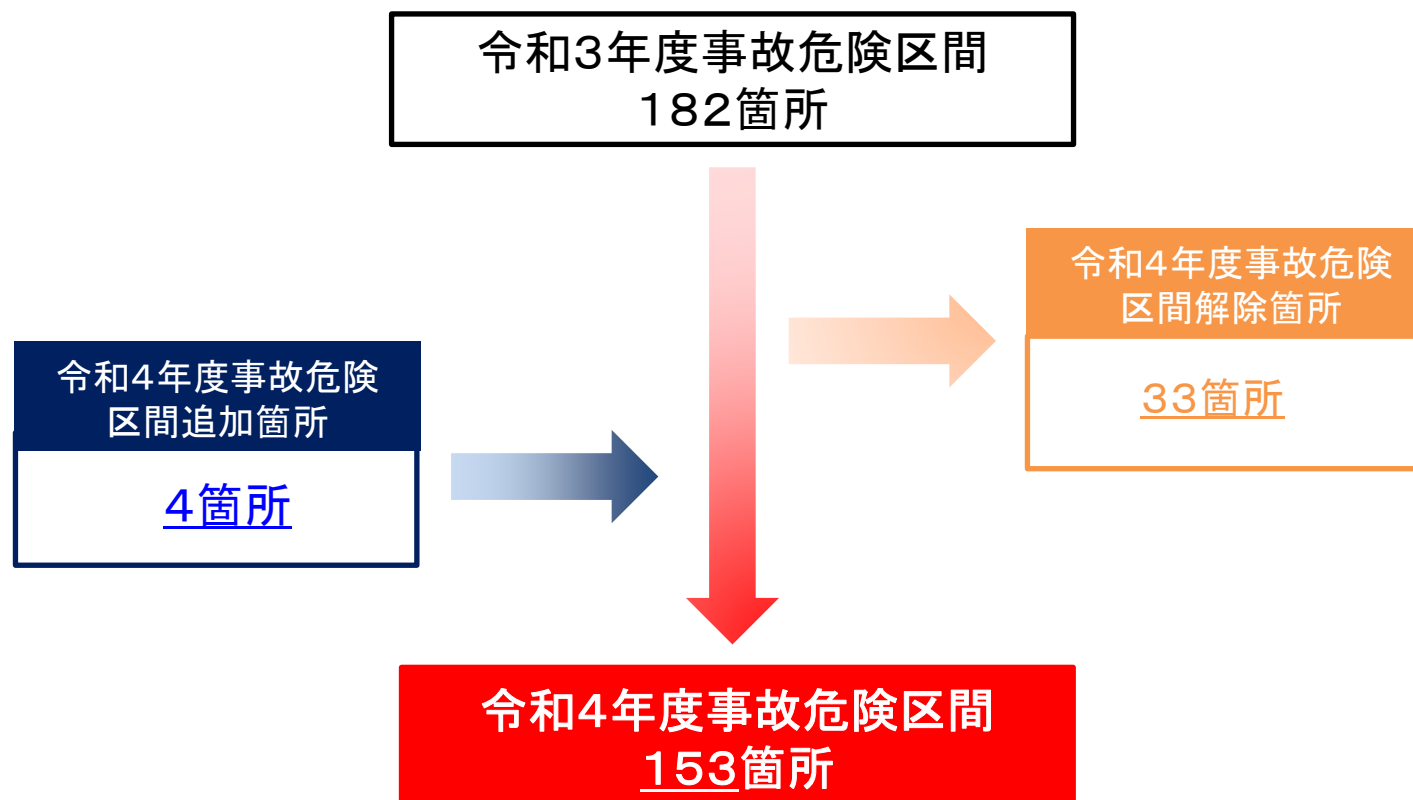


図5-1 令和4年度事故危険区間数

6. 今後の進め方について

■ 今後の検討委員会の進め方

令和4年度 検討委員会（今回）

- ①意見に対する回答
 - ・事故危険区間の登録件数推移
 - ・高齢者事故の特徴（富山県）
- ②最新事故データによる事故危険区間の解除・追加判定
- ③今後の進め方

令和4年度事故危険区間の公表

- ・ 事故危険区間の更新結果

次回検討委員会の開催